



キャンパス・コンソーシアム函館
合同公開講座

函館学 2024

第1回講義
講義資料

PBL教育を通じた地域との連携
～道南地域の可能性を広げる～

講師：高橋 和将

函館大学 専任講師・地域連携センター長

日時：令和6年6月15日（土）

13：30～15：00

会場：函館大学

主催：キャンパス・コンソーシアム函館



キャンパス・コンソーシアム函館 合同公開講座

高橋 和将(たかはし かずまさ)

函館大学商学部 専任講師・地域連携センター長

講師略歴

1972年生まれ 東京都出身

専門分野：PBL (Problem/Project Based-Learning、問題/課題解決型学習)

講師略歴：星槎大学大学院 教育学研究科修了（修士（教育学））

研究領域：アクティブ・ラーニング（PBL）

大手ゲーム・玩具メーカー、貿易会社に勤務の後、起業。約15年、会社経営に携わる。

その後、教育機関へ転身、函館大学 地域連携コーディネーター、現 専任講師・地域連携センター長。

大学では、アクティブ・ラーニング科目である商学実習および観光科目、海外の大学と連携した共同プロジェクトなどを担当。

PBL教育を通じた地域との連携～道南地域の可能性を広げる～

【大学の在り方と役割】

劇的な社会変革が進むこの社会において、自身が置かれているあらゆる状況を見極め、他者と協力しながら、様々な課題を解決する力がこれからの社会を生きていく上でとても必要です。文部科学省では大学教育においてこれらの能力育成の為に、課題解決型授業やプロジェクト学習などのアクティブ・ラーニングの必要性を説いています（注1）。

また、今後の大学の在り方として、「特色ある教育の展開」・「特色ある高度な研究の展開」・「地域社会への貢献」・「社会実装の推進」など、日々変化する社会を見据え、大学がもつ自らの強みや特色を生かしながら、人材の育成や地域への人材の定着など、人材育成の中核となる機能や役割が大学にもとめられています（注2）。

このようなあらゆる要因から、今後の大学は、研究、人材の育成、社会課題の解決に向けた実践的な活動を、自治体・企業・地域などとの関係全体の改革をすすめながら、領域を超えてつながり、協働し、取り組んでいくことが必要不可欠なのです。

【PBLとは】

現在、あらゆる教育機関で導入が進んでいるアクティブ・ラーニングの手法の一つであるPBL（Problem/Project Based-Learning、問題/課題解決型学習）ですが、このPBLに共通していることは、“**学習を進めるために問題を使用する**”ということです。

その他の特徴として、小グループで行うこと・自己主導であること・自己評価を行うこと・相互依存であることが、あげられています。（注3）。

このPBLは、様々な学問に応用することができ、国や地域、年齢を問わず、北欧諸国などのヨーロッパ、中南米を中心に、多くの教育現場で取り入れられています。

函館大学では、このPBLを活用した講義を、2012年からカリキュラムに取り入れていています。

“**学習を進めるために問題を使用する**”と述べましたが、本学で取りあげるテーマの多くは道南地域を対象とした問題・課題の解決や地域の活性化などで、様々な調査や研究活動を実施しています。

【地域との関わり】

地域を対象としたPBLの活動は、学内のみでは当然、完結することではなく、学外の人々との関わりや共同作業、地域と連携したあらゆる活動、調査などを通して最終的なアウトプット（成果）を導き出すことを前提としています。

一連の活動からテーマの課題解決の道筋を学ぶだけでなく、様々な知識や技能の習得、地域を活動のフィールドで行うことで、その地域に対する愛着、高いキャリア意識をもった地域人材の育成につながるような教育の設計をしています。

そして、学生や教職員が地域へ赴き、地域社会への参画を通して地域の活性化に寄与するだけでなく、これら研究や活動の成果が“道南地域の可能性を広げる”一つの選択肢になればと考えています。

今後、このPBL教育を、“地域とどの様に結びつけるか”や、“地域にどう役立てることができるのか”を、複合的・多面的な視点から捉え、“道南地域の可能性を広げる”ことを、地域の皆様とともに考えていきたいと思ひます。

(注1) 文部科学省 (2012). 新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて
～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～ (答申)

(注2) 文部科学省 (2023). 私立大学等改革総合支援事業

(注3) Woods, Donald. R. (1994).

Problem-based learning : how to gain the most from PBL McMaster University,
(新道幸恵(訳) PBL(Problem-based Learning) 一判断能力を高める主体的学習